

第4回吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会 会議録

I.開催日時 令和6年2月27日10時00分～11時40分

II.開催場所 吉野町中央公民館 5階閲覧室

III.出席者（敬称略）

①委員

| | | | | | | | |
|-----|-------|-----|------|-----|------|-----|-------|
| 1番 | 金野幸雄 | 2番 | 杉中泰則 | 3番 | 中川幾郎 | 4番 | 東健二郎 |
| 5番 | 皆地良祐 | 6番 | 北岡信夫 | 7番 | 山本春洋 | 8番 | 西浦正明 |
| 9番 | 内仲勝弘 | 10番 | 坂西保夫 | 11番 | 辻 秀昭 | 12番 | 澤木久美子 |
| 13番 | 平野湊太郎 | 14番 | 上田聡志 | 15番 | 大谷 唯 | 16番 | 中西由佳 |

※1番 金野幸雄、4番 東健二郎、15番 大谷 唯は、Zoomにて出席

②吉野町

副町長 和田圭史、参事 黒田祐介、暮らし環境整備課長 山本 剛、政策戦略課 主任 阪本佳代子
協働のまち推進課長 森脇登志男、参与 北谷隆範

《事務局》

総務課長 辻中哲也、主任 峠 香織、主査 村上祐介、鍋谷友志

③会議録作成（株式会社福本設計）

小寺弘泰、南 匠充

IV.次第

1.開会

2.中川委員長 挨拶

3.議事

①会議録署名委員の選出について

②『吉野町という身体』 金野委員講演

4.閉会

V. 会議録

| 0. 開会前 事務連絡 | |
|-------------|--|
| 事務局 (村上) | <p>おはようございます。定刻まで数分ございますが、本日も会議に入ります前にお手元の会議資料のご確認をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の配布資料は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・【資料 15】の2つです。 <p>以上が、本日の会議資料となっております。委員の皆様方、資料の不足等は、ございませんでしょうか。</p> <p>なお前回同様、会議録の作成の為、ご発言につきましては録音をさせていただきますのでご了承下さい。また録音には、マイクの音が必要となりますのでご発言の際は必ずマイクを通してご発言いただきますよう併せてお願い申し上げます。それでは定刻までしばらくお待ちください。</p> |
| 1. 開会 | |
| 事務局 (村上) | <p>定刻となりましたので始めさせていただきます。本日の出席委員は15名で、内オンラインで3名の委員が出席されております。委員総数16名の半数以上のご出席をいただいておりますので、要綱第6条第3項の規定により、会議が成立することを先ずご報告いたします。</p> <p>それでは「第4回吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会」を開催させていただきます。</p> <p>本日、皆様方にはご多忙のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。総務課の村上でございます。よろしくお願いいたします。</p> |
| 2. 中川委員長 挨拶 | |
| 事務局 (村上) | <p>それでは開催に先立ちまして、中川委員長よりご挨拶をいただきます。</p> |
| 中川委員長 | <p>皆さん、おはようございます。</p> <p>回数を重ねてきましたが、学識をお持ちの諸先生からの様々な観点の課題について、皆様方に共通認識を持っていただき、その上でご発言を賜ろうと思って、ここまで来ています。本日も丹波篠山で著名な金野委員から、町の活性化はどうしたら可能かという観点からお話いただくので、楽しみにしています。</p> <p>庁舎移転・新設という問題をどうするか、私もかつて兵庫県朝来（あさご）市や西脇市の合併のお世話をしてきました。合併した自治体は全て新庁舎を建てています。ですから合併を見送った自治体は、庁舎を建てるチャンスに恵まれなかったとも言えます。いわゆる合併特例債を使うことができなかった、あるいは合</p> |

| | |
|------------------------------|--|
| | <p>併に伴う地方交付税の算定特例期間という恩典もありません。このように、合併を見送った自治体は非常に不利になります。とは言え、それらの自治体も現在、古い庁舎をどうするかで苦闘しており、そのお世話をしています。私は大阪府内で岸和田市や池田市、河内長野市の行財政改革の委員長をしていますが、その中でも岸和田市は老朽化した庁舎の問題に大変苦闘しています。タコ足配線のような状態やトイレの臭いが庁舎に蔓延している状態で働く職員は気の毒だと思いますが、新しい庁舎を建てる、あるいは移転するための経費を捻出せねばなりません。そのためにもどうしたらいいかという財政問題に焦点が移りつつあります。</p> <p>そのようなことも含め市町村にとってのエポックあるいは活性化の契機になるような問題を解決に結び付けていただきたいと思います。そのような意味で、本日は金野委員のお話を聞いた上でご意見を賜りたいと思いますので、どうかよろしくをお願いします。</p> |
| 3. 議事 ①会議録署名委員の選出について | |
| 中川委員長 | <p>それでは「次第3 議事」に入ります。</p> <p>「議事① 会議録署名委員の選出について」ですが、事務局からご説明をお願いします。</p> |
| 事務局 (村上) | <p>それでは、事務局よりご説明させていただきます。</p> <p>要綱第9条の規定に基づき、第4回審議会の会議録署名委員につきましては、澤木委員、平野委員をお願いいたします。</p> <p>なお、会議録につきましては、調整次第、各委員の方々にご確認いただいた後、吉野町HPで速報版として公開させていただく予定です。</p> |
| 中川委員長 | <p>ありがとうございます。それでは、第4回審議会の会議録署名委員については、ご発表の通り、澤木委員、平野委員のお二方によろしくをお願いします。</p> |
| ②『吉野町という身体』 金野委員講演 | |
| 中川委員長 | <p>続いて、議事②に入ります。金野委員のご講演「吉野町という身体」です。</p> <p>それでは、事務局に一旦お返しします。</p> |
| 事務局 (村上) | <p>それでは、金野委員にご講演いただくにあたりご紹介します。</p> <p>元兵庫県庁職員また元兵庫県篠山市副市長であり、そして現在、一般社団法人ノオト代表理事をされております金野委員より「吉野町という身体」ということでご講演いただきます。よろしくをお願いします。</p> |
| 金野委員 | <p>皆さん、おはようございます。大切な日にオンライン参加で大変申し訳ありません。「吉野町という身体」でお話しをさせていただきます。</p> <p>私は国土計画課・コンセプターという怪しい肩書を名乗っていますが、幾つかの組織に参加しています。一般社団法人創造遺産機構 HERITA という、これはHeritageのHERITAですが、そのような組織をご覧のメンバーで2024年に設立しました。重要文化財から未指定の文化財まで、文化財建造物を活用したまちづ</p> |

くりに取り組んでいます。文化遺産を文化的に活用して地域再生を実現させることや、未来の世代のために新しい文化遺産をつくることにも取り組んでいます。

本日は高崎に来ています。富岡製糸場はこの絵に書いてある以上に広く、世界遺産ですが、実際は廃墟の工場のようにになっているものを何とか活用しよう、そしてまちづくりにつなげようとしています。この規模の施設だけで1つのまちづくりかと思います。午後はこの会議が高崎であり、HERITAが事務局で、こちらにいないといけないため、オンラインで失礼します。

その代わりではございますが、先々週現地に行き、役場の方にいろいろ教えていただき、意見交換をし、本日の資料をまとめました。ということで、私ならこうするというアイデアを皆さんに20分程度でお話ししたいと思います。あくまで私の1つのアイデアとしてお聞き下さい。

「吉野町という身体」という風に考えたのは、吉野町に限りませんが、日本の地方都市は人口減少や産業の停滞により疲弊しています。それを1つの身体に例えた時に、ではその身体全体をどうしたら元気にできるのか、そのために庁舎移転をどう生かすか、と考えました。例えですが、脳みそを北小へ持っていこうとしています。それを都市計画的に考えると、では北小がある龍門エリアでどのようにそのインパクトを生かして里づくりをするかというプランづくりが必要であると考えます。脳が出て行くと上市はどうなるのかという話になりますので、では吉野の心臓にして、新しい町としてつくり変えようというまちづくり計画が必要です。その上で、その2つの拠点ができることで吉野町という身体全体に血液が循環して、健康を取り戻せればいいのではないかと考えてみました。

こういう事業を行う時にはコンセプトが重要になります。これも私が勝手に仮置きしたのですが、吉野ですので「森の国を復権していく」ということです。

林業、修験、クラフト等はぴったり森の国の話ですが、それに関連して食文化やアート、観光等を「森」をテーマに展開することも可能だと考えます。そしてシンボルとしての吉野川、吉野杉、吉野山、大峰山、柿の葉ずし等があり、資源や歴史の深さには事欠かないのが吉野町かと思います。

今お話したことを絵にするとこのようなイメージです。上市にいろいろな人が来て、心臓にいろいろな血が送り込まれてきます。それを上市で仕込み、各地域に送り出していけば、各地域が元気になるという構図ができるのではないかと思います。先程、吉野の心臓にと言いましたが、吉野町だけではなく、吉野郡の心臓になればいいかなと考えました。実際、澤木委員はこのようなプロセスを経て国栖に入られたと認識していますが、澤木さん、そうですね？

| | |
|-----------|--|
| 澤木委員 | 確かに外部から来る人にとって、最初のポイントは上市というのがあり、私も上市から入り、龍門へ行き、今は国栖というルートを辿っています。 |
| 金野委員 | 上市にはどのぐらいいらしたのですか？ |
| 澤木委員 | 1年ぐらいいました。 |
| 金野委員 | ありがとうございます。既に実例があると皆さんもお考え下さい。 ではどうするかですが、過去に役場で空き家調査をしたと聞き、この図面をもらいました。この調査はいつしたのか大体で構いませんので、役場のどなたかお答えいただけますか？ |
| 協働のまち推進課長 | 平成28年に調査を行い、再度令和4年から調査をしています。 |
| 金野委員 | ありがとうございます。割と新しいデータとして、このようにあります。 緑の四角で囲んだ所だけを取り上げるとこのようになります。この色分けにはどのような意味があるのでしょうか？ |
| 協働のまち推進課 | 青色が比較的良好な状態の空き家、赤色が良好ではない空き家です。 その中間に位置するのが黄色です。 |
| 金野委員 | なるほど。つまり信号機と同じように考えたらいいかと思います。ちなみに、赤色もきちんと活用できるというのが我々の見解です。コストは少しかかりますが、一度くたびれてしまったものを直すと、すごく良いものができるというのは経験的に知られています。 ではこれを使い、どうするかという私のアイデアは、上市を心臓にする、役場がなくなるインパクトをまちづくりに生かすということです。 まず国道沿いに駐車場を造りましょう。これは私が適当に作っているだけです。ここに車を止めて、細街路を通り、町中に入っていくような都市計画がいいだろうという提案です。既にこれに近い状況になっていますが、計画的に駐車場をこの節々に造るということです。 それから中央公民館、GATEWAY、三奇楼等が既にあり、移住者誘致の拠点施設になっているかと思います。また町中の空き家を活用して、森の国をテーマにした分散型の開発をしていくことで、先程の空き家と重ねて描いていますが、空き家を使いカフェやレストラン、ホテル、工房、ギャラリー、食料品店、住宅、事務所等を展開し、ここに人を集めます。また移住を促進し、新しい産業を興すようなことが起きると思います。こういう動きは既に起きているので、皆さんもある程度イメージできるかと思いますが、その動きを加速するということです。 ではこういうことを誰がやるかですが、GATEWAY や三奇楼のように、地域に入られている事業者をパワーアップしていただくように支援することではないかと思います。 役場でお聞きしたら、この辺の対岸にとっても美しい桜並木があり、この辺から展望したい等、いろいろな意見が出ました。こういうことで上市の心臓をつくりましょう、という提案です。 |

そのようなことができるのかということで、私の地元丹波篠山市で我々が取り組んでいるのがお手元の資料にあります。赤色の点がカフェや工房等の店舗系です。そして黄色の点が宿泊で、このような城下町ホテル構想が実現しています。13年ぐらいかけて開発しました。これは民間だけで行いましたので、官民連携でやるとさらにスピードアップできるかと思います。実際に愛媛県の大洲（おおず）市は官民連携で行い、5年間で同規模のものが造られました。資料を見ていただくと、いろいろなものができることがお分かりになると思います。

それとここに開発事業者と書いてあります。ロコノミとは、私が所属しているNPOのことです。それから冒頭で私はノオトの代表とご紹介いただきましたが、5年ぐらい前に辞めており、今は関わっていませんが、ノオトがNIPPONIAというホテル等を造っています。最近ではkibbutzという若者達のチームが古民家再生・活用に取り組んでいます。ということで、この城下町に3社の民間の、文化的でソーシャルなデベロッパーがいるとお考え下さい。このような形で進展しています。

これが今、上市の話です。役場と北小の関係を見ると、4kmぐらいの距離で車だと5～10分ぐらい、歩いて40分～1時間で、そんなに遠くありません。それを踏まえて考えた龍門地区の開発イメージです。次は、脳みそをどうするかということで、役場が来るというインパクトを地域づくりに生かします。単に役場ができたらいいね、とは考えない方がいいでしょう。市街化調整区域でもあり、新しく開発をする必要はないと思います。

手法は上市と同じ、空き家を活用して、クリエイティブな人材を地域に受け入れます。森の国の小さな産業群も作ります。都市計画法上の問題をクリアするためには、全国各地で里づくり計画案に基づいた空き家活用に取り組まれています。そういうものを参考にされるといいと思います。空き家を滞在施設とした体験ファーム等が、地域団体や民間事業者により企画・運営されている事例があるので、まずは北小がその拠点施設になればいいと考えます。北小に役場ができ、そこに職員も含めて人が集まるようになります。これをきっかけに、地域の空き家活用で人を呼び込んで村づくりを進めていきます。それを全体に広げていけばいいと思います。これが、血が巡るイメージです。

これを官民連携でやるということは、役所だけの資金ではやらないということです。ここが重要で、役所にそれだけのお金がありませんし、役所がやるといういろいろな制約があり、つまらないものになりがちなので、民間に頑張ってもらおうということです。先程の上市も一緒に、駐車場整備等は都市計画的に公共で行ったらいいと思いますが、空き家活用の事業は民ベースで行っていいと思います。

ということで、2つの拠点の話をしました。最後に役場機能の分散配置ということです。北小に脳みその相当部分から全部が移転するかと思います。ですが、それだけで考えるともったいないと思います。

以上、私がお説明した「吉野町の身体」全体の健康を考えると、平時の役場機

| | |
|-------|---|
| | <p>能はどのようにあるべきでしょうか。災害時にどのように役場機能が集結できるか、災害対策本部を組成して人が集まれるかと考えればいいかと思います。</p> <p>例えば町長室はどこに置くのかと私自身が頭の体操をしたということです。議論用のたたき台ですが、例えば、町長室は上市に残った方がいいのではないかと思います。例えば、古民家を直して、町長はここにいることも可能かと思います。政策と産業観光ぐらひは上市に残しておくというのもあり得るのではないのでしょうか。北小には基本的にその他を持っていきますが、お話を聞くと、長寿福祉やスポーツ振興、水道・土木等はそれぞれ、(例えば長寿福祉は福祉施設の横に既にあり、) 分散しています。こういうものを改めて集約する必要はなく、分散させておけばいいのではないかと思います。</p> <p>各地区に分散された職員が兼務辞令をもらい、それぞれの地区の移住受け入れをするエリアマネジャー業務を兼務すれば、各地区の活性化につなげることができると思います。その時に空き家活用が必要であれば、また官民連携で行うということです。</p> <p>これは先程の北小周り、上市の役場周りだけではなく、全体に言えることです。各地域に既にこのような拠点施設があり、そういう所に職員等が何らかの形でいて、本来の通常業務、土木なら土木をやっていますが、移住業務もやりますということです。マルチワークの時代ですので、役人もマルチワークでいいのではないかと思います。自由に動けるノンプロフィットの活動として兼業するのもいいと思います。そういうことも含めてマルチに働き、吉野町全体に血液を循環させてはどうか、というのが私のアイデアです。</p> <p>ちょうど 20 分お話ししました。私の発表は、以上です。</p> |
| 中川委員長 | <p>ありがとうございます。今お手元の資料も含めて提示して下さっているの、ここから先、ご意見及び質問を賜りたいと思います。ご発言をご希望の方は手を上げてお願いできますか。澤木委員、どうぞ。</p> |
| 澤木委員 | <p>金野委員、ありがとうございます。私も金野委員の仰っていることに近い意見を持っていますが、この審議会が始まった最初から違和感を持っていたことがあります。いつもなるべく短いコメントで済ますように心掛けていますが、いつもよりたくさんのお時間お話ししたいと思います。</p> <p>違和感を持っているのは資料⑧「吉野町における遊休施設等の状況について」です。この資料は役場の移転先の候補地を以下にも表現していると思いますが、一番上に、「吉野町中央公民館、旧吉野小学校、旧吉野北小学校への移転案を中心に議論が進められてきたが、令和 4 年 12 月議会において、旧吉野小学校については民間利活用の方針となったところ」と書かれています。1 つまず確認したいのですが、これについては町としては決定事項ですか？</p> |
| 中川委員長 | <p>すみません、一問一答だと時間がかかるので、固めていただけますか。</p> |
| 澤木委員 | <p>分かりました。まずこれが決定事項なのかどうかです。つまり、今回吉野北小に移るという話で一旦決まったかのように、私は認識していましたが、白紙撤回</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>されました。これも変わらないのかどうかをまず確認したいです。</p> <p>それと、本日金野委員にお話しいただいた中に、残念ながらその吉野小学校についてコメントがなかったのですが、上市が賑わいの中心になっていく計画の中には、駅から歩いて行ける距離にある場所はすごく貴重だと思いますので、ぜひ吉野小学校も合わせて賑わいの場所にしていこうということで、資料の絵の中に吉野小まで入れていただけたらよかったと思ったのですが、上市の立ち位置というか、将来像が描けるのではないかと思います。</p> <p>もう1つは「現在の役場の面積に相当する遊休施設」ということで表を作られています。今空いている大きな建物は、吉野北小学校しかないかの如く、資料は見えます。ですが、今の役場と同じ面積が本当に必要なのでしょうか。この資料を見ていると議論する余地がないのですが、例えば現役場にある町議会の会議場が固定で要るのかといえ、年間40～50日しか使っていない場所を面積として入れなければいけないと私は思いません。そういう考え方がアイデアとして出てくる機会がこれからあるのかどうか不安でしたので、審議会ですら議論ができるのか、これは提案としてそういう話もできたらと思いますので、この資料⑧について、もう一度事務局にご説明いただきたいと思います。</p> |
| 中川委員長 | 一旦そこで切らせてもらいます。事務局、どうぞ。 |
| 事務局 (辻中課長) | <p>澤木委員からあった吉野小学校の民間活用のお話については、第1回審議会の時に、こちらの資料で説明をしています。その時に、吉野小学校は基本方針を策定され、議会で民間活用に向けての方針が定まっています。つまり、吉野小学校については、民間活用を町として進めていくという状況です。</p> <p>吉野町役場の面積が1,972㎡あり、そのまま建てる場合のことを審議会でも同じように考えなければいけないのかについてですが、それは違います。澤木委員がおっしゃるように、分散すれば面積も減っていくという意見は、どんどん出していただけたらと思います。</p> <p>最終的にどのような形で庁舎が成り立つのか、あるいはどのような行政サービスができるのかを踏まえて、お話しいただけたらと思います。</p> |
| 中川委員長 | もう一点、金野委員にお問い合わせがあったと思います。吉野小学校を図面に入れたらよかったという意見ですが、どうですか。 |
| 金野委員 | その通りだと思います。単に抜けていただけですので、どんどん入れたらいいと思います。 |
| 中川委員長 | 入れたらいいということです。澤木委員、よろしいですか。 |
| 澤木委員 | そういう意味で言うと、「遊休施設等の状況について」という資料に対する要望として、例えばもう少しコンパクトな役場を町内のどこかに建てるとしたら、町所有で建てられる可能性がある遊休地は他にないのでしょうか。もしあるのであれば、資料として今後提出いただけたらありがたいです。 |
| 中川委員長 | 他、先程の金野委員のご発表に関してのご意見やご質問はありませんか。平野委員、どうぞ。 |

| | |
|-------|---|
| 平野委員 | 金野委員、ありがとうございました。1つ確認の質問ですが、今のお話では、現役場庁舎はなくすことになるわけですか？ |
| 金野委員 | そう思っていました。現役場庁舎は使えないのでなくなり、更地になるのだろうと私は見たわけです。そこをいきなりどう活用するかというよりも、空白の場所として少し置いておき、そこに何か建てるよりも、まず周りの空き家を活用しながら、その象徴的な場所として次、何をするか考えた方がいいかと思いました。 |
| 平野委員 | ありがとうございます。 |
| 中川委員長 | 他にありませんか。山本委員、どうぞ。 |
| 山本委員 | <p>吉野山の山本です。理想的なことだと思いますが、吉野町の場合、範囲が広く、各地区から分散すると、交通の手段等が大変になるので全て集中した方がいいと思います。吉野地区や龍門地区、国栖地区、上市地区に役場の行政サービスが分散すると、各課の行き先やこれからの人口減と高齢化対策という観点では、職員は共助が難しいと思います。</p> <p>また災害時の対策は、どこがメインで、誰をどう配置するのかです。</p> <p>また現職員は約140人と聞いていますが、詳しい業務は分かりませんが、分散すると連携が難しいかと思います。将来、相当な人口減になると考えられますので、今までの体制であれば、このような目的で行けば、凄く理想的な姿だと思いますが、吉野町は広範囲で、交通手段はいろいろありますし、インターネットや電話、パソコン等の普及でみんな行けるとは思います。緊急の場合等は大変ではないかと思います。以上です。</p> |
| 中川委員長 | これについて金野委員のご見解を頂けたらありがたいです。いかがでしょうか。 |
| 金野委員 | <p>いろいろな考え方があると思います。ここに、「町長は上市にいたら」と書きましたが、それは最後町長が決められたらいいと思います。</p> <p>それと職員の意見もこれから聞いた方がいいと思います。本当に1カ所に集まって働きたいのか、それより適切な場所があればそこでやりたいと思うのでしょうか。</p> <p>吉野町は言うほど広くないです。日常の移動は車で出来、災害時は災害対策本部を北小に置かれると思いますので、そこに集結すればいいと思います。災害時だけを考えて、平時の配置を殺してしまうようなことは考えなくてもいいので、そのバランスをどう取るかだと思います。そういうことをここに1つご提案したので、議論を深めていただいたらいいのではないかと思います。「北小か今の場所か」というような、単純な議論にしない方がいいかと思います。</p> <p>各地で様々な庁舎整備や合併の話を見てきましたが、一極に集めても案外上手く行っておりません。周りのその他の旧町が疲弊したりしていますので、こういう血が巡るような形がいいかなと提案をしました。お答えになっていたでしょうか。</p> |
| 中川委員長 | はい、ありがとうございます。 |

| | |
|-------|---|
| | <p>少しインターバルを置いて、皆様のご質問、ご意見の時間を稼ぎたいと思います。</p> <p>先般の東委員のお話、先々般の杉中委員のお話等を聞いていただき、論点は見えてきたと思います。大きくグループ分けをすると、『一極集中か分散配置か』という問題です。もう1つは『平常時の業務のあり方』です。これは東委員が、いろいろな手法を駆使した事例を仰いました。ノートパッドを持った職員があちこちに行けるという話がありましたので、それをバックアップするステーションが要所、要所にあればできますよ、と。DXを活用した場合、集中方式でなくともいけますよ、というアイデアを出されたと思います。</p> <p>つまり論点は、『平常時と災害時』、それから『集中か分散か』、それからもう1つ、移転する際の『スペース候補の問題』があります。</p> <p>先程澤木委員から、「この候補に絞り込む意図があったのか？」という厳しいご指摘がありましたが、「そのような意図はありません」という答えでした。</p> <p>だから、この資料価値はかなり下がっており、分散配置するならば、1,972㎡という考え方にこだわる必要はなくなるかと思えます。</p> <p>澤木委員、それでご了解いただけますか？</p> |
| 澤木委員 | はい。 |
| 中川委員長 | <p>そのように考えていただき、ならばこれからみんなが納得する「ベスト」は難しいと思いますが、「よりベターなものは何なのか」ということに、皆さんが頭を使っていたらと思います。</p> <p>「All or Nothingの議論」はやめましょうと、初めから私が申し上げたのはそういうことです。論点がいくつもあります。その中のどれを未来に向けて選択するか、そういう点でご質問、ご意見があれば下さい。</p> <p>先に災害時のことを仰っていただいた杉中委員より今のご見解を切り出していただけますか。</p> |
| 杉中委員 | <p>本日ご提示いただいた災害時と平時の勤務のあり方は分けて考えてもいいのではないかについては、私もその通りだと思います。災害時は通信もままならず、資源も少ない中で意思疎通をきちんと図っていくために、災害対策本部で皆さんと一緒に仕事をするのは、初動時点で特に大事だと思います。</p> <p>また、庁舎に焦点を当てると、現在の所がどうなるのかを考えるために、ご提案のようなまちづくりの視点は大変重要だと思います。それを実現するためにはお金も必要です。庁舎とまちづくりを一緒にやっていくための資金をどう確保するのかについて、これは旧吉野小学校の議論の時にもありましたが、まちづくりの方は民間の資金をできるだけ導入して進め、庁舎整備と並行して進めていけると思っています。</p> <p>吉野町は百何十人と小さい組織なので、縦割りはそんなに強くないのではないかと思います。大きな組織になると、縦割り意識が強くなりますが、庁舎が分散していても、吉野町のマインドを持っておられる皆さんであれば、意思疎通が取</p> |

| | |
|-------|---|
| | れる気がします。柔軟に考えていけば、災害時に対応できると思います。 |
| 中川委員長 | <p>今いただいたご助言も含めて、ご質問なりご意見があればご発言下さい。</p> <p>私個人として金野委員にお伺いしたいのですが、上市の活性化をもう一度図るために仕掛けていくなれば、私達が知っている身近な町の活性化事例だと、どこがニアリーイコールでしょうか？川沿いのような街道筋の町のイメージでも構いません。</p> |
| 金野委員 | <p>私に関わっている事例だと、丹波篠山から京都に抜ける街道沿いに福住という宿場町があります。そこが、今見ていただいている絵のような状況になっています。古い建物や町の趣に反応する人達にはクリエイティブな人が多く、歴史がある町にはクリエイターが集まります。澤木委員やGATEWAY、三奇楼のような人達です。そういう人達が入ってきて、彼らがまたクリエイティブな人達を呼び込むので、さらに町へ新しい風を吹き込みます。そして森の国としての再産業化を新しい視点で始めるようなことが起きるかと思います。</p> <p>他にどこにあるか、今すぐに思い付きませんが、先程ご紹介した丹波篠山市の取り組みは、今、国の政策になり、全国 200 地域ぐらいで事業展開が始まっています。その中から似た事例を見つけることができるかと思います。</p> |
| 中川委員長 | <p>先生のご意見をいただきたい事例があります。吉野川沿いの街道にある五條という町で、旧板倉藩が開発した城下町のような場所で、整備が進んでいます。</p> <p>そのイメージは、大和上市とそっくりだと思うのですが、金野委員はどう思われますか。</p> |
| 金野委員 | <p>私は五條に直接関わっていないのでよく分かりませんが、そのように今全国展開になっています。7年ぐらい前に建築基準法や旅館業法、文化財保護法の法改正が実現し、このような事業はやりやすくなっています。</p> |
| 中川委員長 | <p>そのような様々な制度を援用すれば、上市の可能性は相当高いと見込まれるわけですか。</p> |
| 金野委員 | <p>我々から見ると、とても面白い町です。江戸時代の町並みではありませんが、いろいろなものが混ざっており、開発ポテンシャルがとても高く、クリエイティブな人達が引き込まれる場所です。飛鳥や吉野等の歴史がある、この辺りは面白い町です。</p> |
| 中川委員長 | <p>ありがとうございます。他にニアリーイコールの事例があれば、折々教えていただきたいです。丹波篠山には私も 30 年以上前から出入りしていますが、その頃は寂れた町でした。城下町かというぐらい、閑散としており、お店は全部閉まっていた。それが、今日ではこんなに栄えると想像もできませんでした。</p> <p>それと同じようなものを上市に、私は、可能性としてもものすごくインパクトがあると思いますので、金野委員のご指摘は、当たりと思って聞いていました。あくまで私の所感です。他にご意見はありますか。辻委員、どうぞ。</p> |
| 辻委員 | <p>金野委員に質問があります。竜門地区は市街化調整区域で新しい建物は建てられないので、空き家を宿泊所として使って農業体験ができるようにしていく、上</p> |

| | |
|--------------|--|
| | <p>市地区は発展させていくと言われました。</p> <p>竜門地区の市街化調整区域を市街化区域に法律改正することについては、多くの住民が賛成してくれると思います。実際に竜門地区で田畑を耕作している人は少なく、太陽光パネルを載せるような逆行のことをしている状況で、どうして、過去のものとなった景観を守らないといけないのでしょうか。吉野町には吉野山や宮滝遺跡があり、上市地域の発展はものすごく大事だと思います。ですが、たまたま庁舎の移転先として経費等で都合のいい竜門地区も、この機会に吉野町の発展の一つの大きな拠点にすべきだと思います。</p> <p>もう1つは、2月12日の奈良新聞に、吉野町の15歳～65歳までの労働人口が、2020年～2050年にかけてどれだけ変化するかという記事がありました。全国的に減少していますが、そういう状況で吉野町は、全国市町村の中でビリから2番目の81.2%減でした。こんな便利な吉野町なのに、なぜ東北や北海道、四国などの市町村に負けるのでしょうか。そういう状況を改善する姿が見えません。</p> <p>これまでの町が行ってきたことは否定しません。どんどん進めないといけません。ただ、今後は、新たな雇用を持ってこないといけません。観光だけでなく、企業誘致をしなければいけません。私が消防団に入っているとき、竜門地区を東海南海連絡道が通ると言われており、そんなものが出来たら多くの人が来るだろうなと思っていました。しかし、現在、この計画はなくなっています。現在は近くでは京奈和自動車道だけです。全国で高速道路が一番多いのは北海道の786kmで、一番少ないのは奈良県の17kmです。こんな不公平はありません。</p> <p>私が言いたいのは、この機会に、竜門地区も市街化区域化をすすめ、空き家を利用するだけではなく、いかに工場や企業を吉野町に誘致していくか、そういうことも踏まえた上で新庁舎を考えてもらいたいです。</p> <p>私は、竜門地区の用途を拡大し、吉野町発展に使えないかと思って質問しました。</p> |
| <p>中川委員長</p> | <p>これについて、金野委員からどうぞ。</p> |
| <p>金野委員</p> | <p>お答えします。龍門地区は本当に美しい場所で、こういう場所に庁舎の一部、あるいは全部が行くのはよいことだと思います。土地転用もして、工場や大規模店舗を建てることを想定された従来型の開発を仰っていると思います。ですが、それは都市計画法上難しいので、書いてあるように全国各地で里づくり計画を作り、土地利用等のルールを定めた上で、小学校周りは一定開発ができるエリアにすることは可能かと思っています。都市計画法の地区計画で実現することもできます。そのような例も実際にあるかと思っています。</p> <p>とは言ってもそういう工場誘致のような動きは難しいのではないかということが1つ。それと、これからの地域づくりと方向性が違うのではないかと、考えています。</p> <p>丹波篠山の小さな開発事例ですが、ここに人が移住してきているわけです。こういうお店はUターンやIターンをしてきた人がやる、つまり移住定住になって</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>います。そのお店を目指して、いろいろな観光客が来ています。直接効果で42名の移住とその雇用創出が107名で、案外ばかりにできない規模です。</p> <p>今、大きな工場が来ても省力化されており、雇用は限定的です。また従来型の雇用は今の若い子達に喜ばれない傾向があります。工場は来たが、地元の子は働かずに出て行くことは、丹波篠山でも起きています。未来型で地域の文化に根差したものを作って行く方がいいかと思えます。</p> <p>我々の開発理論は、小さな開発を連鎖させて新しい町、新しい文化を作り、そこに小さな産業のエコシステムをつくる考え方になっています。こういう方がお勧めというのが私の基本的な考えです。</p> |
| 中川委員長 | ありがとうございます。澤木委員、どうぞ。 |
| 澤木委員 | <p>私も龍門にいたので幾つか知っていますが、今、プロのジャズピアニストが来てフクバタケ（喫茶店名）ができた、木工をやっている人がいます。</p> <p>それから農業に関して言うと、外から来ている人がお手伝いをしながら頑張っているチームがあります。もっと大きいことと言えば、奈良みらいデザインが旧阪本家住宅をこれから開発しようとしています。今から始まるうとしており、金野委員がおっしゃったように、小さいかもしれませんが、外からの力も入りながら少しずつ動き出しているのも、もし本当に人が集まるような役場機能が加えられれば、さらに人を呼ぶ空気が出来てくると思います。今の状態から、手法は上市と同じと金野委員は書いていただいていると思いますが、それと同じだと思います。民間の小さな力が少しずつ集まり、龍門らしさを壊さずに元気になる未来がもう見えているかと、私は思います。</p> |
| 中川委員長 | ありがとうございます。では辻委員、どうぞ。 |
| 辻委員 | <p>これは役場への質問ですが、市街化調整区域は法律では変えられないとのことでした。そして、龍門地区の活性化には別の法律の枠内で動いたらいいと仰っていましたが、市街化調整区域を市街化区域に、本当にできないのか調べていただきたいです。</p> <p>昔、大宇陀町役場が何もない畑の中に移転しました。大淀町役場もそうです。どのように都市計画を変更して実現させたのでしょうか。その後、法律が変わり、変更できなくなったのか、それとも我々が努力して変えられるのかについて、調べていただきたいと思います。</p> |
| 中川委員長 | 今の件は、後ほどお答えいただいたら結構です。平野委員、どうぞ。 |
| 平野委員 | 私は、本日の金野委員のご提案には基本賛成します。全体の考え方は、とても良い方向性を示していると思います。 |
| 中川委員長 | 他にご質問はありますか。西浦委員、どうぞ。 |
| 西浦委員 | <p>中荘地区代表の西浦です。</p> <p>質問ではありませんが、コンセプトにシンボルとしての吉野川と書かれていますが、できれば宮滝遺跡や万葉の里等も付け加えてもらえたらというのがまず1つです。代表として、言わせてもらわなければいけないかなと思いました。</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>それと、先程山本委員も仰っていましたが、職員 140 名しかいないのに分散配置するのは、行政サービスとしては良いかもしれませんが、これからはデジタルの時代です。例えば、南都銀行では、田舎に移動式の車があり、一時的に動いています。固定すると、いろいろな維持管理費等が絡み、吉野町も大変だと思います。移動式の車も、10 年、20 年先のこれからの時代を見据えて考えるべきだと思いますので、当然デジタルも進めなければいけません。そうすると、限られた職員が上手く仕事や作業ができるように、まず職員の立場から考えてもらえればと思います。</p> <p>災害時も考えると、分散は絶対に大変だと思いますので、できるだけ限られた人数で有効な仕事・作業の仕方ありきで動いてもらえたらと思います。</p> <p>だから固定ではなく、移動という考えで今後進めてもらい、10 年、20 年先にとどのような吉野になっているかを発想してもらえたらと思います。</p> |
| 中川委員長 | ありがとうございます。坂西委員、どうぞ。 |
| 坂西委員 | <p>坂西です。金野委員にご質問です。</p> <p>まちづくり計画に基づいてとありますが、このまちづくり計画というのは提案されているように、上市地区、龍門地区等と地区でやられていますが、龍門地区の中にも様々な集落があると思います。その集落ごとに違うコンセプトでまちづくり計画を立ててもいいのでしょうか？というのは、上市地区に隣接して、龍門地区の河原屋があります。そこは龍門地区という大きな捉え方ではなく、隣接していますので、観光は上市地区の開発イメージに乗ってやります。ですが、私が住んでいる吉野北小学校の周りは、農業が盛んで、5 年ほど前から農業をされていない土地を借り、グループで営農のような形で田畑を造る活動や農地景観を守る活動をしています。だから、ここは農業を主体としたまちづくりをします、山に近い所は、林業を主体にしたまちづくり計画を立てる等、1 つの大きな括りの中で、分散してまちづくり計画を立ててもいいのか、お聞きしたいです。</p> |
| 金野委員 | <p>そうすべきだと思います。全体として調和が取れないことになるので、町が全体を見られたら良いと思いますが、おっしゃったような内容であれば矛盾せず、トータルな地域づくりになると思います。ぜひコミュニティー単位でミクロに作って、熱量を持って取り組まれることが一番よいかと思います。それは制度的にも可能です。</p> <p>参考までに申し上げますと、里づくり計画とは、都市計画法に基づく市街化調整区域において一定の開発をしようとする時に、その里づくり計画を作り、用途変更や先程の挙げたような開発ができるようにする制度です。地区計画制度というやり方もありますし、制度と繋がった話をしています。それをおっしゃったような形で、龍門全体での計画を作るのではなく、集落単位で作って、運用していくことは素晴らしいと思います。</p> |
| 中川委員長 | 市街化調整区域に関する理解を全員が共有するために、皆地副委員長からご発言をいただきます。 |

| | |
|------------------|---|
| <p>皆地副委員長</p> | <p>まず、龍門地区でジャズや音楽をやられている店、それから国栖でやられている店は違法建築ではなく、全部町が承認していますか？場合によれば、全部違法建築です。私が3年前に、龍門地区の小さな納屋を改造し、パン屋にするだけで、申請までに7カ月かかりました。なぜかというと、市街化調整区域だからです。今住んでおられる家をどなたかが借り、専用住宅で住むのであれば、合法ですが、改造し、何らかの産業を興そうとすると、全て用途変更の申請を出さなければいけません。それを無視し、建てればいいのか、面積は増やさず、現状の建物で全て処理しますとなった時、集団的に行った場合は町の責任が問われると思います。そこまでの判断をされた上でこの計画を進められているのか、大いに疑問を感じます。</p> <p>それと市街化調整区域での開発問題は、まず不可能に近いです。この辺りであれば、更地にする方が高く売れますが、市街化調整区域に建つ家は、どんなに古くても建ててある方が得です。更地にすると価値がなくなる可能性があります。他県の開発情報は、それぞれ県別に要綱を持たれておられると思いますが、奈良県は比較的保守的で、なかなか進められないというのが私の経験です。</p> <p>それを踏まえた上で北小が役場になり、周辺には空き家が多くありますが、築70年以上の家もあります。そのことを考慮した上で、そのまま改造や補強するという使い方もあると思いますが、それに対する用途変更的な対処をどのようにするかです。これは民間のことだから民間に任せます、とこの審議会で話すのは、非常に危険を伴うのではないかと私は思います。</p> |
| <p>中川委員長</p> | <p>どなたでも結構です。事務局で、市街化区域と市街化調整区域の変更はどういう手続きをされるか、簡単に答えていただければ、先程の疑問は氷解するのではないのでしょうか。金野委員が調整区域だから触る必要はない、と仰っていた意味が分かると思います。</p> |
| <p>暮らし環境整備課長</p> | <p>吉野町のこれまでの流れを簡単にご説明します。</p> <p>50年前の昭和48年に吉野3町の都市計画区域として、大淀、下市、吉野の3町が区域に指定されています。その約10年後の昭和59年に市街化区域と市街化調整区域を明確に分け、開発を促進する所と開発を抑制して自然環境の保全を行う所の線引きをしました。</p> <p>その約5年後の平成2年に第1回の見直しで、市街化区域は当初の130haから140.5haへの区域拡大があり、上市等の市街化区域の面積を広げ、少しずつ市街化を図りました。そして2回目は、平成13年に同じく3ha余りの市街化区域を拡大して、つまり市街化を図ろうとしました。ただ当初のバブル時期から時間が経ち、吉野町も最初は市街化を図ろうとしましたが、現実的に進まなかったため、市街化区域を見直し、調整区域の線引き等ができないか、これまで2回程、取り組みを行っています。</p> <p>ただ、この上位計画である近畿圏近郊整備区域が通常法律の網にかかっていた関係から、徐々にこのようなことは一部ではありますが全国的に、また近畿圏</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>では難しく、奈良県は調整区域の中での開発を緩和する方向で動いています。例えば、元々ある建物を沿道サービス業のような日常生活に必要な物品の販売店舗や、農家住宅、農家の分家住宅等、皆地副委員長が仰っていたように、既に建っている元の宅地を有効活用しています。つまり農地や自然公園等の自然は維持すること部分を、奈良県は優先しています。</p> <p>それに対し、奈良県南部は、更に緩和するような形で、分家住宅、つまり農家でないと次男坊等の分家住宅は出来ませんでした。県南部地域は分家住宅ができる部分が、開発審査会等が支援する等、ハードルは高いですが緩和されてきています。そういうことから吉野町も、法律の見直しは時間が掛り難しいので、できる範囲の中で見直しができないか、市街化調整区域については都市計画の担当部局や担当職員が意見交換会をしながら、話を進めています。</p> <p>ですが、それを待っているとまちづくりはいつまでも進みませんので、別の方法で歩み続けると思います。市街化調整区域の線引きを外すのは限りなく不可能に近い状態ですので、それを待つのではなく、今できる方法を探していこうという動きになっています。</p> |
| 中川委員長 | <p>詳しく説明していただき、ありがとうございます。区域計画か区域区分の変更は知事権限でしょうか？市街化区域と調整区域の変更です。</p> |
| 暮らし環境整備課長 | <p>そうなると思いますが、近畿圏近郊整備区域という部分は、近畿地方整備局になると思います。</p> |
| 中川委員長 | <p>近畿全体の中で議論されるということですね。要するに限りなく難しい世界ということでしょうか？</p> |
| 暮らし環境整備課長 | <p>はい。</p> |
| 中川委員長 | <p>そう言っていただいたら分かります。</p> |
| 澤木委員 | <p>皆地副委員長から国栖のこともご指摘いただいたので、念のために申し上げます。私が今国栖でやっている宿の地域は都市計画区域外です。</p> <p>それから、私の場合は元々宿屋だった建物を利用していますので、用途変更もありません。くにす食堂やうちゅうねこ等も、200㎡を超えておらず、都市計画区域外のため、用途変更の必要はないと確認してやっています。</p> |
| 金野委員 | <p>その点について参考に申し上げますと、2016年12月に国交省から技術的助言が出ています。</p> <p>市街化調整区域の古民家等を観光振興や移住・定住促進に活用できるよう、開発許可制度の運用の弾力化に関する通達が出ています。要するに市街化調整区域では、新しいお店を建設することはできませんが、空き家があり、用途変更してお店にし、移住や定住、観光振興に利用するのであれば、開発は許可できるという政府方針が出ています。</p> <p>よって、市街化調整区域でも、そのような開発は許可しやすくなっています。</p> |
| 中川委員長 | <p>つまり金野委員からご指摘があった言葉のうち、市街化調整区域であり、新し</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>く開発をする必要はありません。手法は上市と同じで、空き家を活用してクリエイティブな人材を受け入れ、森の国の小さな産業群を興すという言葉に矛盾はありません。当然の論理を並べておられる、と私は理解しています。</p> |
| 金野委員 | <p>そういう前提で書いています。もちろん都市計画区域外は、何の問題もないということだと思います。</p> |
| 中川委員長 | <p>何の問題もなく、区域以外はほぼ関係ないということです。それでよろしいでしょうか。都市計画法上の用途地域や区域計画については、ご理解をいただきましたか。</p> <p>それでは第2段落のご質問・ご意見に入ります。金野委員からいただいたお話で、丹波篠山やその他の地域の活性化を考えた時に私が思うことの1つ目は、例えば金野委員のような外部人材を受け入れることです。吉野にそのような寛容性はあると私は思っています。</p> <p>それから、そこにまちづくり技術が入ってきたことです。いわゆる工業技術ではなく、人と人の組み合わせや企画を立て、実行していく技術です。まちづくり技術と言ってもいいでしょうか。</p> <p>また、それに呼応するような内外の人材が上手く動き出したことです。これらがセットされたことで丹波篠山は動き出したと私は見えています。その他の地区では、途中で止まることがありますが、よそ者を排除したことが原因でした。よそ者が来て何を言っているのだ、という時に、止まります。だから、一番大事なのは寛容性で、いわゆるトレランスというものですが、吉野には伝統的にあると私は思いますので、それをもう一度起爆力にするべきではありませんか。</p> <p>それから最新のまちづくり技術を、もっと皆さん学ぶべきではないでしょうか。村づくり技術でも構いません。また人材にもっと着目すべきではないでしょうか。誰かがやってくれるだろうでは動きません。自分が立ち上がるか、あるいはどのような人材がいれば、次に動くかを考えるべきではないでしょうか。</p> <p>金野委員が手掛けられたのは丹波篠山だけではありません。和歌山県の山奥にある日高川町は、たくさんの公共レストランを開き、多くのお客さんが車で来るような店も出てきています。質と情報で勝負する時代にもなってきています。</p> <p>そういう意味で私は、吉野の龍門、中竜門、中荘、国栖、吉野山、上市は、全部同じ可能性やインパクトを持っていると思いますので、今の話は全地区に応用できるかと思います。</p> <p>それ以外にご発言やご質問、ご意見があればどうぞ。皆地副委員長、どうぞ。</p> |
| 皆地副委員長 | <p>先程の私の発言について、補足と訂正をさせていただきます。澤木委員のご指摘のように、国栖地区等は都市計画区域外なので建ててもいいのですが、用途や規模はとても大事で、それにより消防法の適用を受けます。調整区域においては、既存の建物を先程言われたように改造し、専用住宅ではなくなる場合、規模にもよりますが、主用途が店舗であると判断された場合は、用途変更申請を出さな</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>ればならず、場合次第では出しても申請が下りないこともあります。</p> <p>ですから、そういうことを踏まえた上で、違法になるようなことを町が押し進めていくことは、町としてもリスクを伴いますので、理解した上でバックアップされたらいいと思います。道に関しても、前面道路の有無等も法律で全て網羅されています。その中で申請しに伺いますので、何もかもできるのではない、ということだけはご理解いただけたらと思います。</p> |
| 中川委員長 | ありがとうございます。他にご意見、ご質問はありませんか。辻委員、どうぞ。 |
| 辻委員 | <p>金野委員の提案では、役場の機能について、町長は上市に居て、その他どうしても必要な所は、吉野病院等へ分散させ、それ以外は北小で、ということでした。</p> <p>能登地震では停電で緊急警報システムがしばらく動きませんでした。役場を分散させると、災害時にデジタル通信に不安な面があることから、極力、一極集中も大事ではないでしょうか。</p> <p>北小案であれば、災害時は物資が近くにあり、広い避難場所があります。それから、広い駐車場もあり、自衛隊の飛行機（ヘリコプター）等が来ることに十分対応できますので、役場の一極集中がいいと思いました。</p> <p>それから新庁舎の床面積については、せっかくお金をかけてやるのですから、住民が夢や希望をもてるようなゆとりのある広さにしてほしいです。デジタル化により業務のスリム化を図り、空いた時間で住民との触れ合いの時間を増やす、と町の資料に書かれていました。そういう意味でも広いスペースが使える、バリアフリーや、ヒノキ造り、調理室等様々な設備のある北小を活用していただけたらと思います。</p> <p>大幅な人口減少が予想され、生活がしずらくなる中で、地域の人が集まり、寛ぎ、交流したりする場所や、人権も含め生活のことや苦しいこと等の相談、起業などの前向きなことの相談など、気軽にできる場所であるべきです。北小には広い駐車場もあります。</p> <p>広い床面積を上手に活用できるように、議論し、いいものを造っていただくことも大事ではないかと感じました。</p> |
| 中川委員長 | ご意見をだいぶ頂きましたが、ご発言のない委員、発言希望はありますか。よろしいでしょうか。では、東委員どうぞ。 |
| 東委員 | <p>東です。オンラインで失礼します。</p> <p>金野委員のお話を伺い、私も共感するところがありました。</p> <p>それから類似の事例についてありましたが、私も仕事の関係でたまたま、NIPPONIA がある福島県西会津町で、人口も吉野町と同じぐらいの 6,000 人の町です。何回も行っていてその中で町のイメージを持っているので、吉野町を見た時に思ったこととしては、歩いて行ける距離に、いろいろな可能性のあるアセットが既に立ち上がっていたり、その後ろにいろいろなつながりを持った人たちが、うっすらと見えたりします。吉野町に伺う時は、移動時間の関係で三奇楼に宿泊をすることもあり、合間の時間に YOSHINO GATEWAY で何回か仕事をしたこと</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>もあります。こうした施設を上手く活用することが次の仕掛けになるのだらうと、あるいは少し前の段階から吉野町の皆さんは仕掛け始めているのではないかと、薄々感じています。</p> <p>金野委員にお伺いしたいのですが、私のお話でも「時間を活用しよう」と、一番そこを強調しました。そうした時に、ご紹介いただいた事例の中でも、民活をした時に13年かかります、官民連携した大洲市の場合は5年だったと思いますが、時間という観点でポイントになりそうなこと、いわゆる住民参加や住んでいない人達も参加したまちづくりをするということが、重要ではないかと思えます。</p> <p>観念的にアイデアを皆で出し合うだけではなく、例えばお金を出し合うスキームをどう作るか、用途変更をする等、物理的に変えるだけではなく、エコシステムなり、お金の巡り方を変えるなり、そういうものも相まって、上手く進んでいく気がします。その辺りのお話が少なかったように思いましたので、いろいろな人が参加する仕掛けを今回のコンセプトの中にどのように組み合わせていけばいいのか、ご指摘いただきたいと思いました。</p> |
| <p>金野委員</p> | <p>私からお答えしますが、時間の概念で言うと、大洲市役所は、ピークルと呼ばれるまちづくり会社を官主導で作りました。その会社の代表は伊予銀行からの出向で、事務局のリーダーは大洲市からの出向でした。大洲市が持っている寄付物件や購入物件、公開物件等は全てその会社に託し、活用を図りました。これが先程のホテルや店舗、住宅になり、事業がスムーズに運びました。資金調達も一気に10億円です。伊予銀行もいましたので、行政と伊予銀行が半々で資金スキームを組まれていました。</p> <p>今回吉野町が主導でやるとすれば、同じようなことが想定できると思います。ただし、これをいわゆる第3セクターにしないことが重要です。出資率を低めに抑えて、市出資けど自由に動ける法人をつくるのが非常に重要でした。同じようなことをここも考えればよいかと思えます。</p> <p>エコシステムは、地域住民の方達や外部人材を巻き込むことをプロセスの中で行いますが、大洲市で十分出来ていますので、開発スピードに関わらず出来ると思います。物件改修を計画して、直し、オープンするには、時間がかかります。その間に人材の確保やネットワークづくりは出来ると思います。</p> <p>重要なことは、そのようなマインドを持つ人を店に入れることです。レストランのシェフを誘致しただけで、1カ月に1回ワインパーティーが開かれて、オーガニックの農家等と繋がって、クラフトマンが来てワイワイやるような状況ができます。そういう人材をどのように地域に引き込むかが重要かと思えます。</p> <p>そういうことを誰が実行するか、ということになります。最初におっしゃった西会津町は、矢部氏のような人がいたから出来るわけで、彼のような人材が吉野町にも必要です。ですが、そういう人達は、既にいるのではないかというのが私の見立てです。答えになりましたでしょうか。</p> |

| | |
|-------|--|
| 東委員 | <p>ありがとうございます。私も矢部氏の顔を思い浮かべながら質問をしましたし、吉野町にもそういった方々が、今も、今後もいらっしゃるのではないかと思います。</p> |
| 中川委員長 | <p>他にご意見・ご発言のご希望はありますか。よろしいですか。 上田委員、どうぞ。</p> |
| 上田委員 | <p>2点お聞きしたいことがあります。</p> <p>1点目は庁舎移転の件です。一極か分散かというお話が論点に挙がっているかと思えます。ビジネスマンの観点からですが、一極集中型はコスト面、固定費や維持費が下がるという意味合いではとてもメリットのあるお話かと思えます。分散は、俗に言うBCPに当たると思いますが、単純計算でコストが2倍です。固定費や維持費は2倍発生します。なぜこのようなお話をしているかという、今ふと天井を見たら蛍光灯が切れています。吉野町は決して裕福な町ではないとは重々認識しています。皆さんが切り詰め、お金を大切に物事を考えられている中で、みすみすコストを発生させるような選択肢を取っていいのかと強く感じたので、このような発言をしました。私自身の意見としては、一極化してコスト削減を目指しませんか、と思えます。</p> <p>それから金野委員にご知見を拝借したいのですが、丹波篠山の事例を挙げてお話いただきましたが、実情の情報を落としていただきたいです。治安や景観について、開発前と開発後でどのような変化があったでしょうか。治安については、人が2人集まれば、喧嘩の種になります。車やバイク、自転車で移動したら事故も起こります。トラブルもゼロではないだろうということです。良心的な人ばかりではなく、いろいろな人が来る中で様々なトラブルが起こるかと思えますが、トラブルは増えましたか？また、それに対してどのような対策を取られましたか？これは地元住民からすると、重要なポイントかと思えますので、お話いただきたいです。</p> |
| 中川委員長 | <p>金野委員、いかがですか。</p> |
| 金野委員 | <p>ありがとうございます。1点目コストの話は、分散すると高いかもしれません。今既に分散している部分もあるので、検証が必要だと思います。但し、インシヤルに関して言うと、新しいものを建てるのではなく、今回北小を使うわけですし、分散しても既にあるものを使うため、相当抑えられると思えます。ランニングがどうかは検証が必要かと思えます。それと、分散しているメリットとの兼ね合いをどう判断するかだと思います。血を巡らせるにはコストも掛ると思えます。</p> <p>それと2点目の治安の話は、今のところ大きな問題はありません。我々の手法は観光振興というより地域再生です。例えばNIPPONIAのホテルが10物件、20室あるとします。満室になっても40人のお客様です。決してオーバーツーリズムにはせず、状況を見ながら順次増室していますので、トラブルになったことは現在ありません。美味しいレストランやカフェ、ショップが出来れば、地域の人にもメリットがあるので、全体としては受け入れられていると思えます。</p> |

| | |
|--------------|--|
| 中川委員長 | あと一方、手を挙げておられたのはどちらですか。では、平野委員どうぞ。 |
| 平野委員 | <p>私は基本的に金野委員のご発言、ご提案に賛成しています。確認も含めて、上市を心臓、主体にして、吉野山、中荘、国栖、龍門等の各地域に、役所の出張所を分散させるべきかと思えます。</p> <p>空き家のリノベーション、古民家の活用等をしながら出張所を作ります。「吉野町が積極的に空き家を活用している」と外部への情報発信、模範にもなります。地元の貴重な木材を活用した、環境に調和した理想的な美しい民家の実現です。</p> <p>各地域のコンセプトを立てて、それを目的にした行政を、地域ごとに行っていきます。地域住民に寄り添った行政ができると思えます。それを上市で集約し、住民視点で行政の主軸にしていくような仕組みが、私は理想的だと思いました。</p> <p>良い情報発信ができれば、私のように移住する人も増えると思えます。</p> <p>それと私は、初めてこの吉野町役場の5階会議室に入りましたが、ここの景色がすごく綺麗だなと思えました。この建物を先程、金野委員は更地にすると仰っていましたが、私は何かここを活用するべきかと思えます。</p> |
| 澤木委員 | ここは公民館なので、更地になる建物ではないです。 |
| 平野委員 | 失礼しました。現役場の上層階の景色もきれいだと思えます。建物を壊すのではなく、耐震化、リノベーションして、カフェやオフィスとして貸し出す等、そういう活用ができないかと思えました。 |
| 中川委員長 | <p>提案として残しておいて下さい。他はよろしいですか。</p> <p>それでは、本日は皆さんがご所望の90分審議会ということで、何とか収められたかと思えます。予定から5分過ぎたぐらいなのでお許しいただけるでしょうか。次回以降もこのような形で進められたら、ありがたいです。</p> <p>本日の議論の経過が多岐に渡りますが、事務局に会議録をまとめていただく中で、論点が自ずと浮上したり、明瞭になったり、絞られて来ることを期待しています。</p> <p>本日の審議はここまでとし、この後の進行は事務局によりしくお願いします。</p> |
| 4. 閉会 | |
| 事務局 (村上) | <p>中川委員長、並びに委員の皆様方、長時間にわたる意見交換、誠にありがとうございました。オンラインでご参加いただいた委員の皆様方もありがとうございました。</p> <p>また中川委員長におかれては、議事進行、お疲れ様でした。ありがとうございました。</p> <p>続いて次第の5、次回以降の審議会の日程についてご連絡します。</p> <p>第5回審議会 令和6年3月24日(日)午後2時</p> <p>第6回審議会 令和6年4月25日(木)午後2時からの開催を予定しております。</p> <p>ご多忙のことと存じますが、各委員に置かれましては多数の方にご出席くださ</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>いますようお願いいたします。なお、開催案内につきましては、改めまして別途通知させていただきますので宜しくお願いします。</p> |
| 澤木委員 | <p>委員長、次回は内容的にどのような進め方になるか、お聞かせいただけますか。</p> |
| 中川委員長 | <p>事務局からお願いします。</p> |
| 事務局 (村上) | <p>第5回目の予定は、庁舎の場所に関する検討ですが、委員長、いかがなさいますか？場合によっては、本日の第4回を継続するというご意見もありましたが、予定通り第5回に移るのか、本日のお話を継続して続けるか、どうしましょう？</p> |
| 中川委員長 | <p>論点はある程度絞られてきていると思います。</p> <p>「AかBかという2項対立型の論点」と「どちらも必要だという論点」があるでしょう。ですから、それについてもう一度絞り込むためのご見解を皆さんに発言してもらった方がいいと私は思います。</p> <p>論点のマトリックスを明示すればいいと思います。平常時と非常時、分散と集中。分散にしても、多極分散型と一定程度の規模のステーションを設けつつ、もう少しランチを発達させるようなやり方もあります。</p> <p>それを整理し、提示したらどうですか。</p> |
| 事務局 (村上) | <p>承知しました。それでは、本日各委員から出た意見を一通りまとめて、委員長が言われた、「ベストはないけれども、何がベターか」を委員の皆さんと一緒にご検討いただくということで、次回は予定してよろしいでしょうか？</p> |
| 中川委員長 | <p>そうしましょう。</p> |
| 事務局 (村上) | <p>よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、これもちまして「第4回吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会」を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p> |

以上